



下山院長による新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。
2024年（令和6年）の年頭にあたり、ご挨拶させていただきます。

昨年もまだまだ新型コロナウイルス感染やインフルエンザ、ノロウイルス感染などにふりまわされた1年でした。

病院内では感染拡大を防ぐため、継続して感染対策を厳重に行っています。現在も発熱外来の継続、予防接種の実施などを行っています。昨年4月よりご要望が多かった整形外科の医師が就任され、外来診療も充実し、よい評価いただいているようです。外来リハビリも再開しています。是非ご利用ください。

今年も職員一同知恵を出し合い、今まで以上に利用しやすい地域の病院になれることを目指していきたいと考えています。皆様も当院を利用いただき、何かご意見やご要望がございましたら是非お聞かせください。

本年も当院を引き続きよろしく申し上げます。



当院では土曜日も終日外来診療を行っております。ご利用ください。

甲状腺検査について

令和5年11月より新たに免疫分析装置が導入され、院内で測定できる項目が増えました。甲状腺機能検査（TSH、FT3、FT4）です。甲状腺は喉仏の下に、蝶が羽を広げて気管を抱くような形でくっついてあります。甲状腺は普段は何気なく機能していますが、生存に不可欠な甲状腺ホルモン作成・分泌を担っている重要な器官です。成人では基礎代謝、脂質、糖、アミノ酸などのエネルギー代謝、骨代謝、薬物代謝に関与しています。甲状腺ホルモンは新陳代謝を促進させ、脈拍数や体温自律神経などの働きを調節し、エネルギーの消費を一定に保っています。そのため、甲状腺ホルモンは多すぎても少なすぎても次のような様々な症状が現れます。

共通症状：頸部の腫れ、倦怠感、易疲労感、手足の脱力、足のむくみ
無気力、集中力の低下、物忘れ、脱毛、月経不順

過剰症状：動機・息切れ、暑がり、汗をたくさんかく、手足の震え
体重減少、下痢をする、イライラする、食欲亢進、眠りが浅い、眼が大きくなった

欠乏症状：動作緩慢、寒がり、皮膚乾燥、眼瞼・顔のむくみ、体重増加
便秘がち、話が遅い、食欲低下、いつも眠い、声が低くなった、爪が割れやすくなった

もし、あてはまる症状があるようでしたら一度診察の時に医師に相談してみてください。隠れている不調の原因がわかるかもしれません。

*定期的に血液検査をされているような場合には、追加で採血することはほとんどありません。

